

富士山の火山活動解説資料（平成 28 年 10 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

萩原遠望カメラ（富士山山頂の東南東約 18km）、中部地方整備局が朝霧（富士山山頂の西約 14km）及び富士砂防事務所（富士山山頂の南西約 17km）に設置しているカメラによる観測では、今期間、噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図 2、図 3）

火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。
火山性微動や浅部の低周波地震は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 4、図 5）

GNSS¹⁾ 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS（Global Navigation Satellite Systems）とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 富士山 山頂部の状況
（10月15日 萩原遠望カメラによる）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 28 年 11 月分）は平成 28 年 12 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、中部地方整備局、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、山梨県及び神奈川県温泉地学研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

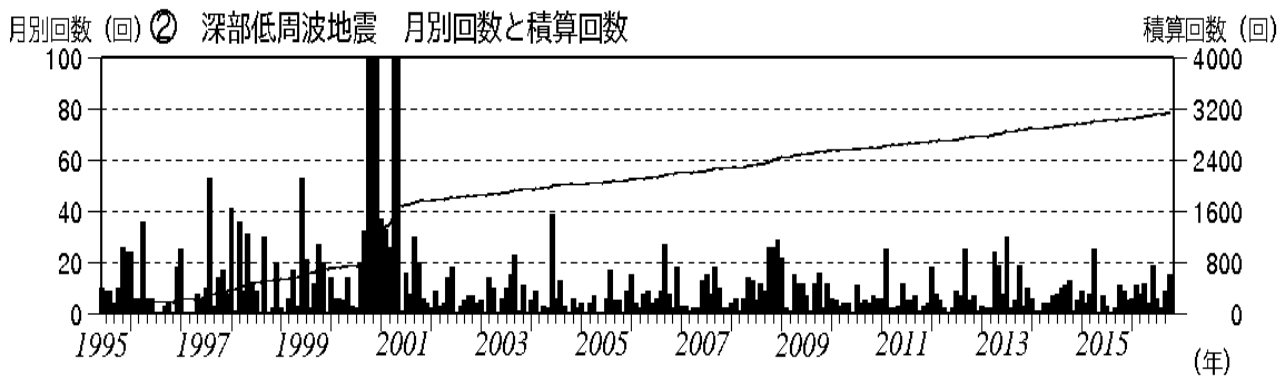
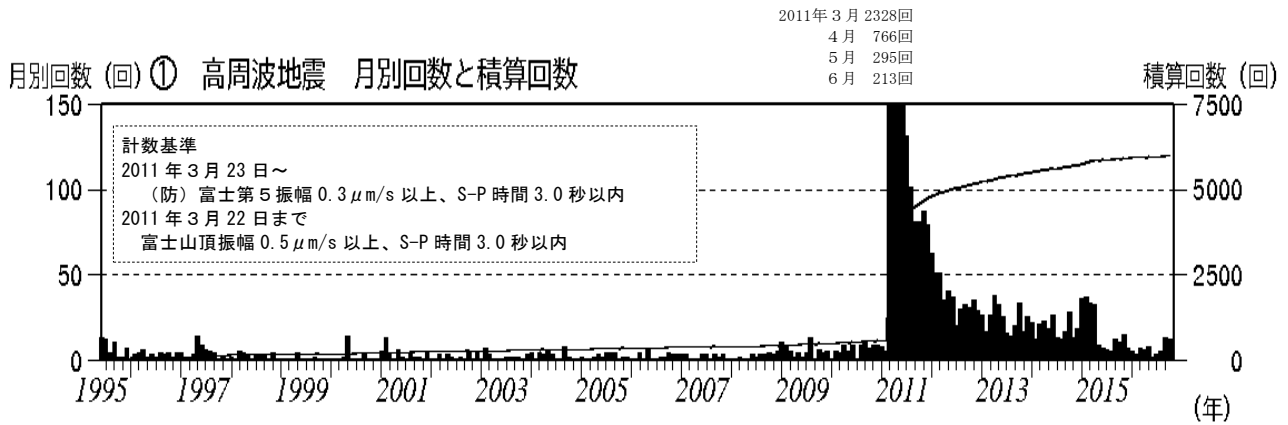


図2 富士山 月別及び日別地震回数（1995年6月1日～2016年10月31日）
・ 2011年3月15日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード6.4の地震以降、地震活動が活発な状況となっていました。

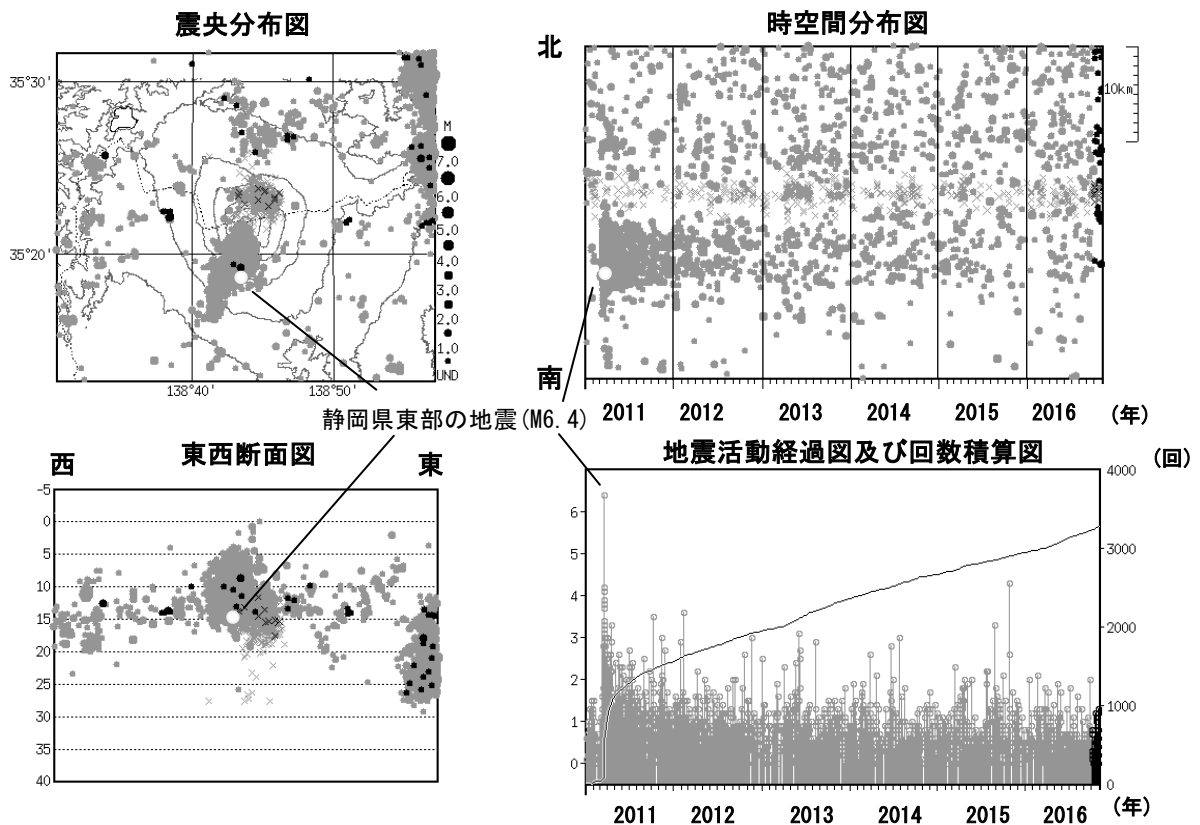


図3 富士山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2011年1月1日～2016年10月31日）
● : 2011年1月1日～2016年9月30日 ● : 2016年10月1日～10月31日
・ ×は深部低周波地震を表します。M（マグニチュード）は地震の規模を表します。
・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

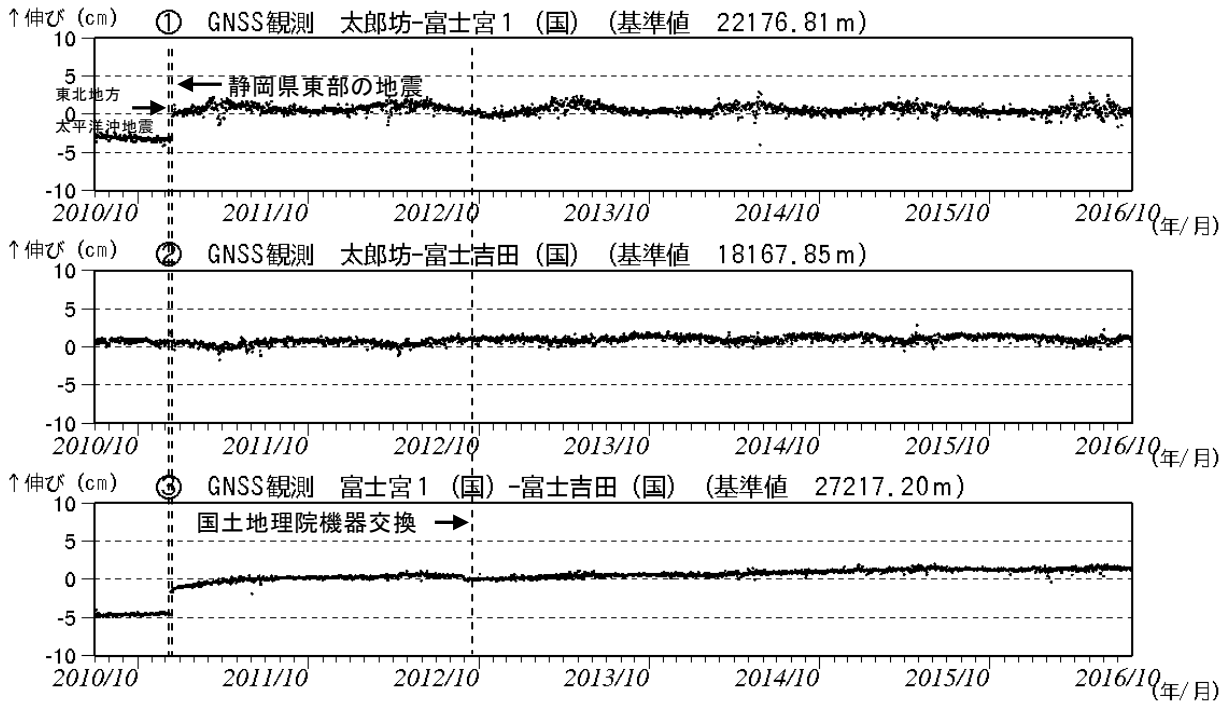


図4 富士山 GNSS 連続観測による基線長変化 (2010年10月1日~2016年10月31日)
(国): 国土地理院

- ・2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震、及び2011年3月15日に発生した静岡県東部の地震の影響により、ステップ状の変化がみられます。
- ・①~③は図5のGNSS基線①~③に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示します。

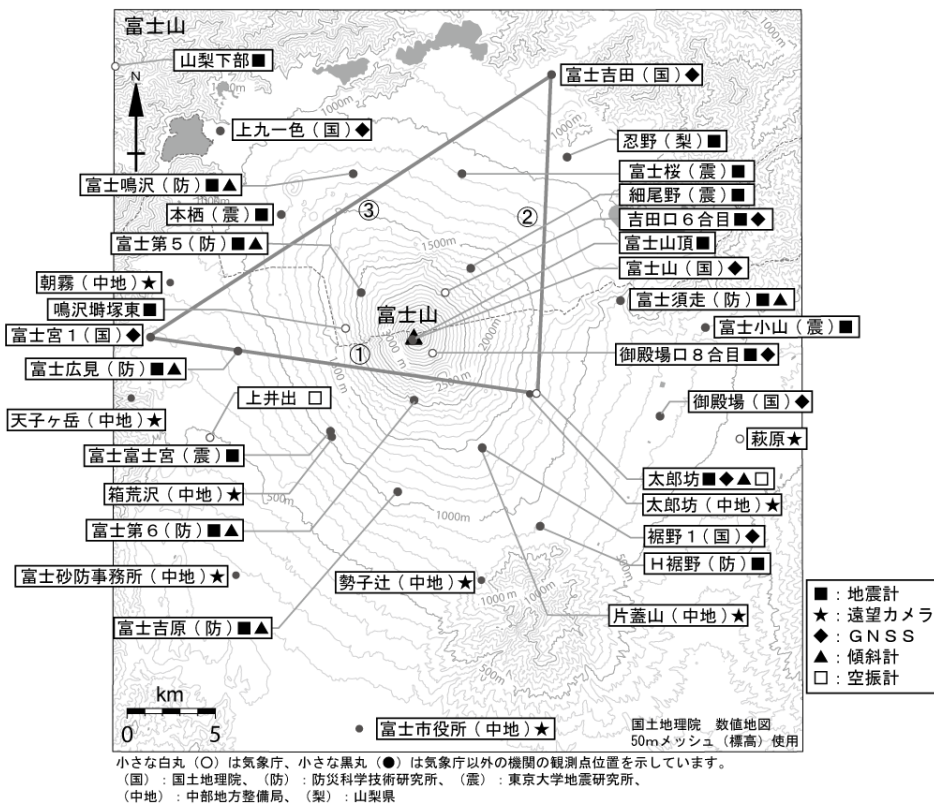


図5 富士山 観測点配置図

- ・GNSS 基線①~③は図4の①~③に対応しています。